

令和7年度 第6回河原地域振興未来会議議事概要

日 時 令和8年2月19日（木）13時30分～15時30分

場 所 河原町総合支所 2F中会議室

〔出席委員〕

林昭男、西谷美智子、前田伸一、山下教幸、奥谷仁美、渡邊幸勇、中村佳紀、田中ありさ、小坂美波（順不同）

〔欠席委員〕

田村早百合、西田正人、田村 稔

〔説明者〕

資産活用推進課（福井課長、長谷係長）

〔事務局〕

山根支所長、前田副支所長兼地域振興課長併教委分室長、岡本産業建設課長、山川地域プロジェクトマネージャー

〔傍聴者〕

なし

会議次第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事
 - 1) くらしと公共施設を考えるワークショップの報告について
 - 2) 空き家の利活用を進めるための取り組みについて
 - 3) そ の 他
- 4 事 務 連 絡
- 5 閉 会

議事概要

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) くらしと公共施設を考えるワークショップの報告について

説明者：資産活用推進課福井課長

【委 員】 ワークショップを実施した後でもあり、例えばバーチャルで河原城を舞台にイベントを行ってはどうでしょうか。新しいことをすることは何事もハードルが高いものですが、今あるものでやってみようという事があれば、ワークショップをやったことが目に見えて形になるとよいと思います。

【委 員】 河原城に宿泊スペースを設けるのも面白い。どこかの城もやっていたと思います。

【事務局】 昨年行われたワークショップでは、田んぼアートやサウナを活用したイベントなど、大学生から面白い意見がたくさん出ました。

- 【委員】 鎧を活用して遊んでもらうとかも面白い。
- 【委員】 河原城のイベントは面白い。子どもたちにとっても夢があります。
- 【委員】 河原城に宿泊や、貸し切りイベントの企画とか、子どもたちに考えてもらい大人がサポートするなど、子どもたちの声も聞くのが大切です。
- 【委員】 複合的な体験として、防災トイレの体験や乾パン試食、野外テント生活など、防災を学びながら体験をするのもよいです。
- 【委員】 昔はキャンプを千代川の河原でやっていましたが、河原城に泊まるのもよいアイデアです。
- 【委員】 久松山に上る人もいるが、河原城には城（展望台）があるので魅力的です。今はどのくらい上っているのでしょうか。子どもたちも上ったら思い出になりますね。
- 【委員】 あまり登ってないのではないのでしょうか。
今度のウォーキングイベントでは、河原城に上がります。
- 【委員】 みんなで町内を歩いてみたらよいのではないのでしょうか。
霊石山もよいです。みんなで上がってみてはどうでしょうか。
- 【委員】 湯谷荘を核として周辺の空き家を宿泊施設にすることもよいのではないのでしょうか。
- 【委員】 夏に湯谷荘の前の広場で蚊帳の中で寝てみるという体験イベントはどうでしょうか。
- 【委員】 ハード事業よりもまずはソフト事業を充実させたほうが良いです。
- 【委員】 川床を作ってみたかったが、増水の恐れとかで現実的には困難でした。
- 【説明者】 皆さんから貴重なご意見を色々と伺いました。ソフト事業が重要と思います。公共施設はどんどん古くなっています。旧耐震の建物は安全面を考えると、廃止していく方向になると思います。地域の創意工夫による公共施設の活用方法が重要だと感じました。

(2) 空き家の利活用を進めるための取り組みについて

説明者：山川地域プロジェクトマネージャー

- 【委員】 商工会でも空き家のことができるようになったのですか。
- 【説明者】 現在はできないが、商工会で出来るよう、閣議決定され、今後可能となるようです。ただし、良い物件はすでに不動産屋が扱っていることも事実です。
- 【委員】 今、商工会の中では、空き家の管理やリフォームなどが可能な業者を募集して登録する制度を模索中です。ただし、管理団体となるのは難しいのではと思います。
- 【説明者】 斡旋やリフォームは素人には手が負えません。市内の別の空き家管理団体でも様々な形をとっています。空き家情報の管理と希望者への紹介だけしかやらないところもあります。それぞれ自分たちでできる範囲でやっています。鹿野の団体は、イベント、人の呼び込みからリフォームまで手掛けておられます。市内の団体はどこも苦労しておられるようです。青谷・気高・鹿野では、空家率は3エリアとも直近5年間でそれぞれ改善しています。空き家対策の成果が出てい

るものと思われます。

【委員】 空き家が減って人が住むようになると商工会にとってメリットがあるのでしょうか。

【委員】 事業所や個人事業者が増える場合にはメリットがあります。

【説明者】 やはり商工会にとって相性が良いのは、河原のまちなかエリアにある空き店舗への対応ではないかと思います。

【説明者】 佐治町では、豪雨災害の影響が空き家率の数字に出ていると思われます。今はまだよいが5年後、10年後が心配です。空き家問題については、だいぶん町民の関心が高まってきたように思いますが、これからも地域の身近な集まりの中で、例えば不要品の片付け方や家の終活などについて話し合いをもっていたかとありがたいです。

【事務局】 公民館の事業の後の15分間でもよいので、担当者を呼んでいただき、皆様にどんどん関心を持ってもらいたいと思います。また、家だけではなく商店を増やしたりすることで町内の賑わいづくりにもつながります。

【事務局】 実際に空き店舗へのニーズもあるのでそれに応えられるようにしたいと切に考えておりますので、是非ともご協力をお願いしたいと思います。

【委員】 リバーなど河原の中心地の空き店舗の状況など、現地を見るのもよいことだと思います。

【事務局】 この会の開催会場を考えさせていただいて、また別の場所で開催し、新たな視点での皆さんの意見を頂けるとありがたいです。また次回以降、提案してみたいと思います。

(3) その他

なし

4 事務連絡

5 閉 会